



# JJRC 千葉

2023  
Vol.15



## 101年目の挑戦

## つなぐ・つづける・つくる



きけんはっけん!



つながるダンスプロジェクト



千葉県青少年赤十字のつどい



オンライン国内交流



スタセン(小学校)



スタセン(中学校)



スタセン(高等学校)



教師のための指導力アップセミナー



オンライン国際交流(支部主催)



ウクライナ人道危機救援金募金



オンライン国際交流(本社主催)



高校生ボランティアアワード



トレセン(千葉市地区)



トレセン(山武地区)



トレセン(東葛飾地区)



トレセン(東部地区)



トレセン(葛南地区)



トレセン(西部/中央地区)



高齢者体験学習



救護倉庫見学

特集

## 青少年赤十字 次の100年にむけて

## JUNIOR RED CROSS 100th

## ～今 わたしに できること～





学校(園)で活かせる

# 青少年赤十字のプログラム

## 学習で活用できるプログラム

学校の要望に応じた体験活動を実施することができます。

体験活動を通じて、児童生徒に「命と健康の大切さ」を伝え、相手に対する思いやりを行動に移すことができる子供の育成に活用できます。



- 救急法講習会(AEDの使い方、心肺蘇生)
- 水上安全法講習会(着衣泳)
- 福祉体験プログラム(高齢者体験、車いす体験、点字体験)
- 各種講話(防災について、ボランティアについて、国際理解について)
- 職場体験、インターンシップの受け入れ

学習プログラムの詳細はこちら ▶



## 活動に活かせる資料等の提供

青少年赤十字の実践目標に関する学習や防災教育に役立つ教材を提供することができます。

教材はホームページからダウンロードすることができます。



防災教材



機関紙

## 充実した資料と学習サポート

青少年赤十字では、体験活動等を実施するための豊富な人材や学習資料を用意しています。



- 救急法等講習会の指導員(赤十字指導員)
- 各種講演会の講師(赤十字職員)
- 体験活動の講師・補助者(赤十字ボランティア)



- 高齢者疑似体験セット(31セット)
- 点字盤セット(40面)
- ボッチャセット(2セット)
- 地雷模型 など



## 生きる力

## 文部科学省 学習指導要領

変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の知・徳・体をバランスよく育てることが大切だと示されています。その中で次の充実化がうたわれています。

### 体験活動の重視

学校や学級内の人間関係や環境を整えるとともに、集団宿泊活動やボランティア活動、自然体験活動、地域の行事への参加などの豊かな体験を充実すること。

- 赤十字の救急法等講習会の活用
- 児童生徒向け研修会・交流会の活用
- 福祉体験プログラム

### 道徳教育の充実

道徳教育の充実のために家庭や地域の人々の積極的な参加や協力を得たりするなど、家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ること。

- 地域の赤十字ボランティアとの学習サポートを通じた相互交流

青少年赤十字 (Junior Red Cross) では、さまざまなプログラムが用意され、子どもたちの考え方や行動力、社会性を広げます。

総合的な学習 (探求) の時間や教科の学習、部活動、学級・児童会・生徒会・委員会活動等の様々な場面で活用してみませんか？

## 赤十字主催のプログラム

### 児童生徒向け研修会・交流会

他校の児童生徒と交流・学習し、共に高め合うことができます。



- リーダーシップ・トレーニング・センター
- スタディー・センター
- 千葉県青少年赤十字のつどい
- 高校メンバー協議会・中学生交流会



### 指導者向け研修会

青少年赤十字が長年培ってきたノウハウを指導者に提供しています。



- 教師のための指導力アップセミナー など

### 国際理解教育への活用

赤十字のネットワークを活かし、国内外を視野に入れた活動や、海外メンバーの受け入れなどを行っています。

コロナ禍ではオンラインを活用した交流を実施しています。



- 国際交流派遣、受け入れの実施
- 一円玉募金を通じた海外への支援
- トピックアルバムやビデオレターの交換

### 国内交流派遣 (小学生メンバー対象)

※佐賀県のメンバーとの交流を実施しています。



## JRCを経験した子どもたちの声



いのちと健康を大事にします。

友達の気持ちを考えて行動します！



学校や家で自分ができることを実行しています。



## 青少年赤十字の「実践目標」と「態度目標」

児童生徒の「生きる力」の充実と実践に青少年赤十字が活用できます。

### 実践目標 「生きる力」の充実化

#### バランスよく育てる教育方針

#### 『健康・安全』

生命と健康を大切にする

#### 『奉仕』

社会のため、人のためにつくす責任を自覚し、実行する

#### 『国際理解・親善』

広く世界の青少年を知り、仲良く助け合う精神を養う

### 態度目標 「生きる力」の実践

#### 活動における指針

#### 『気づき』

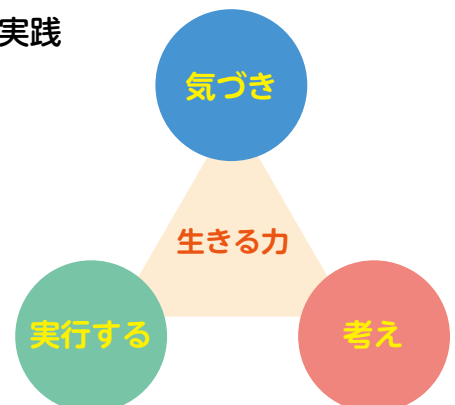
自分の生活や社会のニーズに気づく

#### 『考え』

原因と解決の方法を考える

#### 『実行する』

問題解決のための具体的な行動を実行・評価・反省する。



# 次の100年にむけて



人工知能が社会の要となり、仮想空間と現実空間が高度に融合して激変する今日。私たちの価値観は飛躍的に多様化しました。

国際社会に目をやれば、武力を背景とした人道危機や克服に至らない新型ウイルスへの挑戦が続き、気候変動が生む自然災害は猛威となって世界各地に爪痕を残しています。

未来を支えて生きる命。多様で複雑な変化と主体的に向き合い、協働を通して課題解決に臨む「生きる力」の育成が学校教育の使命です。百年にわたり時代に寄り添ってきた青少年赤十字の理念と活動は、まさに今日の学校教育目標を具現化する姿と重なります。青少年赤十字の営みが学校教育と相乗し、未来を生きる人材を育むものと実感しています。

会長 千葉県立松戸向陽高等学校 校長 **荒井 俊郎** 先生



副会長 大多喜町立大多喜小学校  
校長 **田中 憲生** 先生

私が勤務する大多喜小は、平成27年に総元小、上瀑小と統合されました。各校の沿革を見ると、JRCの加盟は旧総元小が最も古く、昭和58年です。百年には及びませんが、永きにわたる諸先輩方や子供達の取組が今日の私達まで伝わっていることを、改めて感じました。本校では、児童会活動と連携させたJRC活動が引き継がれています。今後も継続していくことが私達の役割と捉え、次の百年へつなげていければと思います。



副会長 千葉市立蘇我中学校  
校長 **根本 厚** 先生

JRC関係者の皆様、創設100周年おめでとうございます。まずはこの長きにわたり、JRC活動を組織として維持・発展し、継続されてきたことに敬意を表します。

本校は、JRC活動を長年にわたり生徒会活動の中の1つの委員会活動として取り組んでいます。活動内容はもちろんのこと、その態度目標である「気づき、考え、実行する」を大切に、校内の多くの場所に掲示して、生徒たちの行動規範としています。JRC活動がこれからも長く大切にされ、益々発展していくことを祈念します。



副会長 千葉県立船橋北高等学校  
校長 **和久 純** 先生

昨今、情報化社会は高度化し、AIやロボットにより、社会生活も目まぐるしく変化しています。この変化の激しい社会を生き抜くためには、「生きる力」が必要です。「気づき・考え・実行する」というJRCの態度目標は、その力を身につける一助となります。他校の同級生や先輩・後輩との新たな繋がりを大切に、互いを認め、思いやり、励まし合い、切磋琢磨してください。青少年赤十字の更なる発展を祈念しています。



監事 印西市立六合小学校  
校長 **友野 吉弘** 先生

世のため人のために「気づき・考え・実行する。」という理念のもと、100年の長きにわたり多くの方々のおゆめぬ努力を支えられ、維持・発展したことに敬意を表します。コロナウイルス感染拡大による大幅な活動の制限や採用校の減少など全国的に乗り越えなければならない課題も多々ありますが、JRCの崇高な理念は、学校教育の目指す目標そのものであることを多くの学校関係者に理解していただき、よりよい社会の実現に向けてさらなる発展を祈念しています。



監事 鎌ヶ谷市立第五中学校  
校長 **鞠子 正弘** 先生

第一次世界大戦のときに青少年赤十字は誕生し、日本の青少年赤十字活動は1922年に滋賀県で誕生しました。この間、時代は大正・昭和・平成・令和と変遷しましたが、赤十字のやさしさや思いやりの心を持った子どもの育成を目的とした活動は脈々と引き継がれてきました。本校も令和の日本型学校教育の構築を目指す中で、全ての生徒の可能性を引き出すためにその精神を生かした教育活動を推進していきたいと思えます。



監事 千葉県立茂原樟陽高等学校  
校長 **伊藤 周** 先生

青少年赤十字創設100周年おめでとうございます。100年にもわたる、地道で揺るぎのない活動は、多くの若者の「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」への理解を深め、すべての人の内側にある「優しさ」を行動に変える大きな役割を果たしてきました。

これからも我々は、地球規模の自然災害、残念ながらなくならない戦争や紛争、新たな病との戦い、貧困や飢餓など予測不能な困難に対峙しなければなりません。そのためにも、すべてのボーダーを超え、皆がつながり、困難を乗り越えることが必要です。その礎となるのが青少年赤十字の活動だと信じております。

さらなる100年に向けて、皆さんの活動がさらに普及浸透していくことを祈念するとともに、これまで御尽力くださったすべての方に感謝申し上げます。



# JUNIOR RED

今わたしに



**参加校**

**保育園** 社会福祉法人啓愛会 銚子中央保育園

**小学校** 鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷小学校／鎌ヶ谷市立東部小学校／鎌ヶ谷市立南部小学校／鎌ヶ谷市立北部小学校／鎌ヶ谷市立西部小学校／鎌ヶ谷市立中部小学校／鎌ヶ谷市立初富小学校／鎌ヶ谷市立道野辺小学校／鎌ヶ谷市立五本松小学校／印西市立六合小学校／旭市立鶴巻小学校／東金市立東小学校／山武市立大平小学校／市原市立鶴舞小学校／東金市立城西小学校／横芝光町立横芝小学校



# CROSS 100th

## できること



### 一覧

#### 中学校

千葉市立土気南中学校／千葉県立千葉中学校／船橋市立坪井中学校／鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校／  
鎌ヶ谷市立第二中学校／鎌ヶ谷市立第三中学校／鎌ヶ谷市立第四中学校／鎌ヶ谷市立第五中学校／  
八街市立八街南中学校

#### 高等学校

千葉県立土気高等学校／千葉県立佐倉高等学校／敬愛学園高等学校／千葉県立船橋北高等学校／  
千葉県立松戸六実高等学校／中央学院高等学校／千葉県立匝瑛高等学校／千葉県立茂原樟陽高等学校／  
千葉県立佐原高等学校／千葉県安房西高等学校

# 活動紹介

## 四街道高校JRC同好会の皆さん 特別表彰!! 受賞

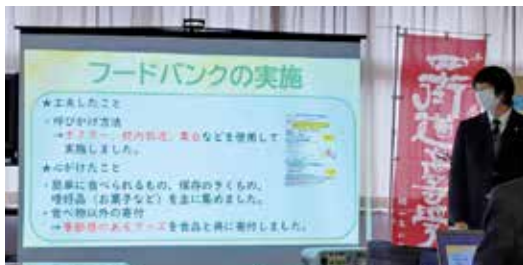
「高校生ボランティア・アワード」は、風に立つライオン基金の事業であり、高校生のボランティア団体活動の継続と発展への動機づけを目指すものです。日々、地道な奉仕活動を実践する高校生の“発表・交流の場”として開催しています。

今年は、第7回目の開催となり全国大会へ千葉県立四街道高等学校JRC同好会が出場しました。

「青少年赤十字創設100周年賞」として特別表彰をされました。

コロナ禍でも活動できることを模索し、“非接触でもできるボランティア”として地元駅の清掃、コロナ禍の生活困窮者への精神面の支援活動を発表しました。

四街道高校JRC同好会の皆さんおめでとうございます。



## 六合小学校の皆さんが 一円玉募金を届けてくれました

青少年赤十字の実践目標の一つ「国際理解・親善」の活動として、一円玉募金活動があります。世界にはまだまだ衛生面で大変な国があります。

この募金活動で集めたお金は、主にネパールやバヌアツの子どもたちが衛生的に生活したり防災に対して学習したりする活動に役立てられています。日本赤十字社が海外支援する事業一つです。

六合小学校の皆さんありがとうございました。



## 銚子中央保育園の皆さんの「赤十字集会」!

昭和61年に千葉県青少年赤十字に「幼稚園・保育園の部」が結成されました。その立ち上げに3園が賛同していただき、そのうちの1園が銚子中央保育園です。

月1度の「赤十字集会」では、指導主任の先生が、三大実践目標を子どもにわかりやすく話をしたり、「こどもせきじゅうじのやくそく」を唱和したりして、小さな子どもだけど青少年赤十字の活動の一員である、という自覚を確認する時間となっています。

今月の「赤十字集会」では、前半は「丈夫な体でいるためにどんなことができますか」という先生の問いかけに「ご飯をたくさん食べること」「早く寝ること」などたくさんの意見が出されました。後半は、日本赤十字社の提供している防災教材「まちがいさがしけんはっけん!」を使い、災害時にどんな危険があるかを考えました。このようにして「赤十字集会」を継続しています。

銚子中央保育園の皆さん ありがとうございました。



# 千葉県の青少年赤十字

## 青少年赤十字の学校教育への採用推奨について

- 青少年赤十字の学校教育への採用推奨について各機関から依頼文が発出されました。

千葉県では令和2年度から令和6年度までの期間に計画された、

### 第3期 千葉県教育振興基本計画 次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン

を策定しました。

この中で、施策2「道徳性を高める心の教育の推進」において、「**日本赤十字社**や**社会福祉協議会**等の団体と連携した社会問題に取り組むボランティア活動等の推進」と記載されています。

- ▶ **千葉県教育委員会 教育長**から  
令和5年2月3日付  
各県立学校長  
各市町村教育委員会教育長  
各教育事務所長あてに発出

- ▶ **千葉県総務部 学事課長**から  
令和5年2月16日付  
各私立学校長あてに発出

- ▶ **千葉市教育委員会 学校教育部教育指導課長**から  
令和5年2月9日付  
各千葉市立小中高特別支援校長あてに発出



千葉県PRマスコットキャラクター  
チーバくん  
千葉県許諾第A1562-8号

## 青少年赤十字の概況について

- 青少年赤十字は全国の幼稚園、保育所(園)、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の約14,441校で採用され、約350万人が活動しています。
- 千葉県では、千葉県教育委員会、千葉市教育委員会の後援により行事を実施しています。
- 千葉県教育委員会及び総務部学事課、千葉市教育委員会から各学校の青少年赤十字の採用が推奨されており、県内の幼稚園、保育園を含んだ243校で、それぞれの実態に合わせて工夫した活動をしている仲間がいます。

## 青少年赤十字の採用について

- 活動に役立つ学習資料・資材の提供が受けられます。青少年赤十字プログラム(中面)をご参照ください。
- 「総合的な学習の時間」「総合的な探求の時間」に活用できる体験学習やボランティア学習、防災・減災学習等の指導者を無料で派遣することができます。
- 先生方を対象とした研修会、メンバーを対象とした職場体験等が受けられます。
- 採用することで、何らかの義務や強制を伴うようなことは、一切ありません。



青少年赤十字についてはこちら

<https://www.chiba.jrc.or.jp/activity/youth/index.html>

